

(別記様式)

平成24年度 京都府立須知高等学校 学校経営計画(スクールマネジメントプラン)(計画段階 ・実施段階) 34 (須知)

| 学校経営方針(中期経営目標) | 前年度の成果と課題 | 学校経営の重点(短期経営目標) |
|--|--|--|
| <p>1 目指す教育 日本三大農業教育発祥の地「京都府農牧学校」以来の歴史と伝統を受け継ぎ、「自主」「規律」「誠実」を校訓とし、心身ともに健康で、自主の精神に富み、根気よく学ぶ力と豊かな情操を身につけた有為な社会の形成者を育成する。</p> <p>2 目指す学校 (1)地域と共に歩む学校、地域を支える人材を育成する学校 (2)「土から食卓までを結ぶ」新たな農業教育を拓く学校</p> <p>3 目指す生徒 (1)夢と希望を持ち、自ら学び自らを高め、未来を見通し拓く生徒 【展望する力】 (2)豊かな感性、人権意識、道徳心を身につけ、社会を担う責任を自覚し、自然、人、社会とつながる生徒 【つながる力】 (3)自らの目標を実現するため、失敗を恐れずに挑戦し、強くしなやかな意志と健康でたくましく生きる生徒 【挑戦する力】</p> | <p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none">生活指導の充実により、落ち着いた学習環境が整った。食品科学科が、その特色を活かした東日本大震災福島支援の相馬農業高等学校との共同研究や「冬のギフトセット」の開発などに取り組んだ。きめ細やかな情報発信により、本校に対する保護者や地域の理解が進んだ。 <p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none">生徒の学ぶ意欲や学習習慣の定着、将来への高い志や目標を持たせること。地元中学生徒数が減少傾向にある中、本校の「学び」の魅力をさらに引き出し、情報発信に努めること。 | <p>学校経営主題 「リスタ須知・・・夢無限大 温かくて厳しい学びの場の創造」</p> <ol style="list-style-type: none">「学力向上フロンティア校」として、学力の向上と希望進路の実現 (1)多様な生徒のニーズに応える指導方法の工夫改善 (2)進路を保障するための計画的かつ継続的な指導体制の確立 (3)学力の基盤である「ことばの力」の育成を図る。専門学科「食品科学科」の魅力を高める (1)「土から食卓までを結ぶ」6次産業化プロジェクトの推進 (2)地域の食材をテーマにした地域連携事業の推進 (3)農業クラブ「プロジェクト研究活動」の組織的な推進部活動等の充実 (1)特色ある部活動のホッケーをはじめとする様々な部活動の充実 (2)新入生の部活動加入をすすめる。 (3)地元の伝統文化である「太鼓」を取り入れる。地域と共に歩み、信頼される学校づくりの推進 (1)食育環境パートナーズスクール事業に加え、地元中学校との「中高連携事業」や京都府立林業大学校との連携推進 (2)きめ細やかな情報発信の推進 |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価 | | 成果と課題 |
|----------|--------------------|---|----|--|-------|
| 1 教務部 | 学力向上の推進と原留・中退の防止 | <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力向上のための、補習や小テストの実施及び学習習慣の定着 授業規律確保と、授業改善の取組 | | | |
| | 新教育課程の編成と校務システムの構築 | <ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領への移行に向けた教育課程の編成 校務システムの活用 | | | |
| | 学習活動を支援する図書館活動 | <ul style="list-style-type: none"> 学習支援資料の作成・更新 | | | |
| | 読書環境整備 | <ul style="list-style-type: none"> 展示や広報を活用した多種多様な図書館資料の紹介 | | | |
| | 図書館管理システムの環境整備 | <ul style="list-style-type: none"> 蔵書データの遡及入力への推進と蔵書検索機の適正な利用方法の周知 | | | |
| | 学校と家庭との連携 | <ul style="list-style-type: none"> P T A活動の充実と積極的な行事参加の推進 口丹ブロック研修会の開催 | | | |
| | 学校広報活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 「須高通信」の発行 より見やすいホームページの工夫 | | | |
| | 学校情報化の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 校内ネットワークのセキュリティーの向上 個人情報漏洩防止対策の推進 | | | |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価 | | | 成果と課題 |
|------------|-----------------------|--|----|--|--|-------|
| 2 生徒指導部 | 自主的な規範意識の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・規律ある生活の確立を促す。 ・公共心の醸成を目指す。 | | | | |
| | 安全安心な環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・いじめや暴力を見逃さない。 ・盗難や喫煙の未然防止に努める。 ・警察署等との連携を図り、不審者対策等に努める。 | | | | |
| | 自主活動の活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動の活性化を図る。 ・ボランティア活動を積極的に推し進める。 ・部活動活性化を図る方策を探る。 | | | | |
| | 家庭との連携を深める | <ul style="list-style-type: none"> ・PTAとの連携強化を図る。 ・人権部等他分掌との連携を図り、家庭と綿密に連携する。 | | | | |
| 3 進路指導部 | 就職指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・早期から具体的に仕事について知る工夫をする。 ・学科試験・適性試験の指導、作文・面接指導を充実させる。 ・生徒の希望に合わせた企業開拓に取り組む。 | | | | |
| | 推薦入試の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・推薦入試に向けての指導の充実を図る。 ・小論文・面接・添削などの個別指導の充実を図る。 | | | | |
| | 学力向上に向けた取組の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・学年・教科と連携したサタデー・スクールの充実を図る。 ・模擬試験を活用した学力向上の取組を図る。 | | | | |
| | 保護者及び生徒への情報提供の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・「保護者の進路講座」を継続し、保護者の進路学習の充実を図る。 | | | | |
| 4 保健部 | 健康教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な取組に加え、「基本的な生活習慣と健康」、「性教育」等の講演を実施し、生徒の健康意識の向上を図る。 | | | | |
| | 美化活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常の清掃活動等により、生徒の美化意識を向上させる。 ・ゴミ分別の意識を高め、正しく分別するよう指導する。 | | | | |
| 5 人権教育部 | 人権学習の推進と人権意識を高める取組の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学年ごとに人権学習を実施し、基本的人権に対する正しい理解と認識を育てる。 ・生徒人権委員会の活動を充実する。 | | | | |
| | 就修学の保障と希望する進路の実現 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力保障の取組を進め、原留・中退の減少を目指す。 ・経済的に困難がある生徒に対して援護制度を紹介し、その活用を促す。 | | | | |
| | 課題のある生徒に対する指導と支援の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談会議を定期的に関催し、対応すべき生徒を早期に把握し、各分掌と連携して適切な指導支援を行う。 | | | | |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価 | 成果と課題 |
|------------------------------|--|----------------------------------|----|-------|
| 6 農場部 | 生徒の学習意欲の喚起につながる授業の展開により、専門的な知識・技術を身につけさせる。 | ・総合実習と関連づけた、より具体的でわかりやすい授業を展開する。 | | |
| | | ・社会人講師を効果的に活用し専門知識や技術を深化させる。 | | |
| | | ・教科活動で進路意識の向上を図る。 | | |
| | | ・授業規律を遵守する。 | | |
| | 農業クラブ活動をとおして、「指導性」「社会性」「科学性」を身につけさせる。 | ・プロジェクト活動を推進する。 | | |
| | | ・各種行事をとおして協力や奉仕の精神を育てる。 | | |
| | | ・農業検定及び資格取得の充実を図る。 | | |
| 効果的で円滑な農場運営を推進する。 | ・効率的な作付け計画を検討する。 | | | |
| | ・校外販売に取り組むと同時に、生産物の新たな販路を開拓する。 | | | |
| | ・より計画的な予算書の作成と適正な執行に努める。 | | | |
| | ・農場の環境整備及び施設設備の充実を図る。 | | | |
| 食品科学科の特色を生かした地域との連携を推進する。 | ・京丹波町産業振興課と連携する。 | | | |
| | ・小中学校及び大学と連携する。 | | | |
| | ・地域イベントへ積極的な参加と参加体制を確立する。 | | | |
| 食品科学科の将来構想を継続して検討する。 | ・平成25年度入学生教育課程に伴う施設・設備の充実を図る。 | | | |
| 食品科学科として一貫した生徒指導を行う。 | ・服装や生活指導を重点的に行う。 | | | |
| 7 第1学年部 | 高校生としての基本的な生活習慣を確立させる。 | ・遅刻・欠席をなくし、規則正しい学校生活を送らせる。 | | |
| | | ・規則を守り、須知高校生として誇りを持たせる。 | | |
| | | ・挨拶、清掃など基本的な習慣を身につけさせる。 | | |
| | 学習に取り組む姿勢を確立し学力を向上させる。 | ・学習環境を整え、授業に集中させる。 | | |
| | | ・課題、提出物を確実に提出させる。 | | |
| | | ・講習や模試、サマーセミナーに積極的に参加させる。 | | |
| | | ・ワンデイトライを活用し学びなおしを進める。 | | |
| | | ・3年間を見通した計画のもと、進路指導を行う。 | | |
| | 仲間を大切にすることを養い、人権意識を高める。 | ・諸活動に積極的に取り組みせ、仲間意識を高める。 | | |
| ・いじめ、暴力を許さず、仲間を大切にすることを育成する。 | | | | |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価 | 成果と課題 |
|------------|--|--|----|-------|
| 8 第2学年部 | 進路実現に向けて意識を高め、早期の進路決定を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部との連携を深め、計画的な進路指導を行う。 ・講習、模試、学習合宿への積極的参加を勧める。 ・英語検定、漢字検定など積極的に資格取得を勧める。 | | |
| | 授業を大切にする姿勢や家庭学習の習慣を身につけ、学力の向上を目指す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習環境を整え、授業に集中させる。(机上の整理、教室の整理) ・課題、提出物を確実に提出させる。 ・学力向上フロンティア事業に取り組み、進路実現を目指すとともに、原級留置、仮進級をなくすように努力する。 | | |
| | 基本的な生活習慣を身につけ、HR活動、部活動、課外活動などに積極的に取り組み学年として成長する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ指導を中心に、規律ある学校生活を送らせる。 ・学校の中心としての自覚を育成し、沖縄研修旅行、須高祭生徒会活動などに積極的に取り組ませる。 ・仲間を大切にすることを養い、人権意識を高める。 | | |
| 9 第3学年部 | 生徒全員の希望以上の進路を実現させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・三者面談、二者面談を通して学校、保護者、生徒の意思を統一する。 ・学習環境を整え、授業に集中させる。 ・進路指導部との連携を深め、計画的な進路指導を行い希望進路を実現する。 | | |
| | 全員揃って卒業式を迎える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業延期者を出さないように、追認考査、定期考査の学習指導を進める。 ・家庭との連携を密にし、遅刻、欠席をなくすようにする。 | | |
| | 最終学年として、須高生の見本となる学年とする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全員で須高祭に取り組み成功させる。 ・生徒会活動を中心にボランティア活動に積極的に取り組む。 ・他学年や地域の見本となる学校生活を送るように生活指導を行う。 | | |
| | 仲間を大切にすることを養い、人権意識を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育部、生徒指導部など他の分掌と連携を深め、いじめ暴力を許さない生徒を育成する。 | | |
| 10 事務部 | 学校経営という視点を持った予算の執行 | <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある学校づくりを進めるため、各部分掌会議や各種事業等と積極的に連携を図る。 ・学力充実・向上のための予算の重点的な措置 ・スピードとタイミングを重視した予算執行 | | |
| | 学校理解を深める広報活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・事務室からの情報発信をする。 | | |
| | 安心・安全な学校環境の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・常に危険意識や課題意識を持った施設設備の維持管理 ・清潔な学習環境を保つ。 | | |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価 | 成果と課題 |
|-------------|------------------|--|----|-------|
| 11 国語科 | 進路実現に向けた学力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力定着を目指し、「リスタディ（学び直し）」を継続的に行うとともに、漢字の学習や校内漢字能力認定試験の取組を進める。 進学補習やサタデースクールを活用して、実践演習に取り組みせるとともに、個々に合わせた指導を添削などを通じて行う。 | | |
| | 「ことばの力」の育成 | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの科目で「書くこと」を意識した授業を実践する。 小論文模擬試験等と連動した授業計画を立案、実施する。 個人添削の充実を図る。 | | |
| | 授業力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 授業研究など教科内研修を通じて授業力を向上させる。 | | |
| 12 地歴公民科 | 基礎学力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 「学びなおし」をすすめ、中学校段階の学習内容についても学習する機会を設ける。 小テストの実施等により基礎的知識を身につけさせる。 毎時間の重要事項を・到達目標を明示し、学習意欲を向上させる。 | | |
| | 生徒の進路実現に向けた学力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 補講や生徒の進路に応じた個別指導等により、生徒の学力を高め、進路を保障する。 時事問題や社会全般の一般常識を身につけさせる。 模試受験者に過去問題解説等の受験指導を実施する。 | | |
| | 「わかる授業」の実現 | <ul style="list-style-type: none"> 授業内容と現代社会の接点を重視し、生活と密着した授業内容を増やす。 視聴覚教材を活用し、生徒の興味関心を高める。 演習や調べ学習で生徒に主体的に授業に取り組ませる。 | | |
| 13 数学科 | わかる授業 | <ul style="list-style-type: none"> 丁寧な説明と反復練習を重視し、わかる授業を実現する。 毎授業内で達成感を与えるような授業展開を工夫する。 家庭学習を充実させる。（週末課題の充実） | | |
| | 進学保障 | <ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通して実力の付く系統的指導を心掛ける。 放課後、休業中の進学補習を充実させる。 模擬試験・実力テスト等の結果を分析し、弱点分野の克服指導を心掛ける。 | | |
| | 進級保障 | <ul style="list-style-type: none"> 教科指導を通じて、学習に対する基本的な方法や態度を身につけさせる。 定期考査ことに再テストを実施し、回復の機会を設ける。 必要な場合は、考査前の学習教材を提供する。 | | |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | | | | 成果と課題 |
|-------------|---|---|--|--|--|-------|
| 14 理科 | 科学的な考え方を身につける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察を積極的に取り入れる。 ・興味・関心を持ち、科学的な考え方でできる教材・授業方法を工夫する。 | | | | |
| | 教科指導の工夫。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力・進学指導の両方に対応できるよう、継続した補習を実施する。 ・授業方法を工夫するとともに、教材を精選する。 | | | | |
| 15 保健体育科 | 安全への配慮、公正、協力、責任等の態度を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに集団行動を徹底して行う。 | | | | |
| | 健康増進・体力の向上を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に運動を実践する態度を育てる。 ・体力を高める運動を実施する。 | | | | |
| | 健康・安全への知識、理解を深める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習などを実施し、主体的学習態度を促す。 | | | | |
| 16 芸術科 | 表現領域の学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な表現法の習得 ・基礎的な理論の習得 ・基礎的な歴史の学習 | | | | |
| | 創作領域の学習 | <ul style="list-style-type: none"> ・多様なアート作品の制作 | | | | |
| 17 英語科 | 読む、聞く、話す、書くの総合的な英語力、語学力をつけるための指導の工夫を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・フロンティア事業に基づき、英検の過去問等を利用して、校内での認定や、実際に英検を受験して資格を取得することを促進する。 ・小人数講座、習熟度別講座、学習項目の精選、基礎補習や進学補習によって、生徒の基礎学力定着を図るとともに上位層のさらなる実力向上を図り、進級や希望進路の実現に努める。 ・毎週の定期的な単語テスト等を実施することにより、語彙力をつける指導を行う。 | | | | |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価 | 成果と課題 |
|-----------|---|--|----|-------|
| 18 家庭科 | 生活を主体的に創造する力を持った「生活者」を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の生活を見直し、工夫・改善できるような学習課題に取り組みさせる。 ・さまざまな人の意見を聞き、多様な価値観に触れ、自分らしい生き方について考えさせる。 ・高校卒業後の生活を具体的にイメージしながら、自立に向け日々の家庭生活に役立つ内容を取り扱い、実践できる力をつけさせる。 ・社会人講師の活用により、知識・技術の向上を図る。京丹波町産業振興課と連携し、食育推進プロジェクトに参加する。 | | |
| | 授業規律の確保について努力し、日々の授業に前向きに主体的に取り組ませる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の始まりと終わりの挨拶・授業態度・服装・言葉遣い等の指導を徹底し、落ち着いた学習環境づくりに努める。 ・生徒自身が考えて取り組める内容の教材やパワーポイント等の視覚教材を作成し、意欲的な学習姿勢を持続させられるよう指導方法を工夫する。 ・調べ学習や意見発表などの機会を持ち、生徒の主体的な学習活動を支援する。 | | |
| 19 情報科 | 豊かな感性、道徳心を身につけ、社会を担う責任を自覚し、人、社会とつながる生徒。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナーの必要性を自覚し、他人を思いやり自己を育む豊かな感性を育成する。 ・高度情報通信社会に参画するため、無形財産権の保護やネット犯罪巻き込まれないための知識を学ぶことで、社会を担う責任と自覚を育成する。 ・授業に積極的に参加する態度を育て、ノート作成指導や実習課題の提出の徹底を図る。 | | |
| | 夢と希望を持ち、自らの目標を実現するため、失敗を恐れず挑戦し、健康でたくましく生きる生徒を育成する | <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器を活用したコミュニケーション能力を育成するとともに、情報発信能力及び情報受信能力育成に取り組む。 ・さまざまな資格取得に積極的に挑戦し、将来の進路に向けた準備ができる態度の育成に取り組む。 ・目的に応じたコンピュータ活用方法を選択し、活用する能力の育成に取り組む。 | | |
| | 担任及び家庭との連携を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・成績不振者に対する情報を、担任に適宜報告する。 ・欠席生徒に対する報告を適宜行い、担任と連携する。 | | |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価 | | |
|---------------------|----------------------------------|--|----|--|--|
| 20 総合的な 学習の時間 | 1年 『人間としての在り方・生き方を考える』 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「総合的な学習の時間」を通して、自己の在り方生き方を考える。 ・ 教科学習の基礎となる学習態度や学習意欲を育てるとともに豊かな心の育成を図る。 ・ 課題発表や課題作成を通して、資料の収集・整理・発表の方法、技術を身に付ける。 | | | |
| | 2年 『沖縄に対する理解を深める』 『進路を考える』 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄研修旅行と関連づけ、沖縄についての調べ学習を行い、沖縄への理解を深める。 ・ 社会や職業に関心を持ち、自らの進路を主体的に考える態度を育成する。 ・ 「調べ学習」を通して資料収集・整理の方法や報告、発表の方法を学ぶ。 | | | |
| | 3年 『進路について考える・現代の諸問題について考える』 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 進路学習を通して職業観・勤労観を育て、希望する進路の実現をめざす。 ・ 社会の様々な問題を学習し、人間としての在り方生き方を考える。 ・ 様々な情報を整理したり、自分の意見をまとめ、表現する力を育てる。 | | | |

| | |
|-------------------------|--|
| 学校関係者 評価委員会 による評価 | |
|-------------------------|--|

| | |
|-------------------|--|
| 次年度に向けた改善の 方向性 | |
|-------------------|--|